自己流で何かをやる事の危険性

塾講師として、中高生に英語を教えていた時に、「どうやって勉強しているの？」と聞いたら、「自分で思い付いた方法」と言う生徒が大半を占めていました。

もちろん、私が担当した生徒は３０人弱とサンプルサイズとしては少ないのです。しかし、このような自己流で勉強やらダイエットやらスポーツやらに挑む人は多く居ると推測します。

自己流で何かを行うのが危険な理由として、たくさんの人がそれをやって成功した成功事例を元にしていない事にあります。

例えば、受験勉強における勉強方法。成功した人間と失敗した人間がどのように勉強していたか？と言う事例は腐るほどあるわけで、その中でも、最も成功率が高い方法を実践するのが、受験戦争に勝つ最も有効な勉強方法では無いでしょうか？

他にも例えば、何か問題課題悩みを抱えた時、一人で抱え込んで、結論に至るのでは無くて、約２０００年…と言う人類史の膨大なデータから、自分と同じ問題課題悩みを抱えていた人の解決事例を見てみて、どれが最も成功率が高いのか？と言う事例を元に決断を下す事。もし、色んな事例があって、一概にどれが良いのか分からないなら、科学者のように色んな事例を試してみて、自分の合う物を探すのが得策でしょう。

だからこそ大事なのは、大きい数字。統計学に意味のあるサンプルサイズ。たくさんの人がそれを試して成功した成功事例を見つけ出し、それを実践するのが、あらゆる活動作業に置ける、最も成功確率が高い道でしょう。